

---

# 東方執事物語

ダン・ボール

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

東方執事物語

### 【NZコード】

N1458Z

### 【作者名】

ダン・ボール

### 【あらすじ】

この物語は古来よりスカーレット家に仕える一人の執事が主人公の物語である。警告この物語には、ハーレム、オリ主、原作無視、キャラ崩壊、オリ主マルチチート、作者、文才チリ以下、更新バラバラ、等が含まれております。あー、俺には無理、と思った方はバックをお勧めいたします。まあ見てやる、といった心広い方は使用上の注意を読み用法を守つて、気長に、正しくお読み下さい。・・警告は・・しました・・よ?

## **執事プロフィール（前書き）**

とりあえずは紹介です。  
馱文ながらこれからよろしくです

## 執事プロファイル

名前	アレス・スカーレット
性別	男女両方
ランダムで変わる。1日経つと変わることもある、 つても変わらないこともある。	1週間以上経
年齢	紫よりは間違いなく上・・・
能力	男の時 あらゆる武器を扱う事ができる程度の能力 女の時 あらゆる能力を無効にする程度の能力
男の時	外見 男は髪、目、ともに美しい青色、男の娘 セミロングで後ろで纏めている 女は髪、目、ともに美しい真紅 ポニーテール
その他説明	性格はドSで冷静でノリが良い。 家事はなんでもこなれ、知識も豊富。 一時期幻想卿から出ていた。理由はまたいつか・・・

恋愛にはそれなりに鋭いが、確信するまでが長い。  
ようは気付いたのはいいが、もしかして違うかも・・・と考えたり  
してかなり遠回りする。

## **執事プロファイル（後書き）**

もう何も言つまない・・・  
すいません、やつぱり一言・・・やりすぎた感が・・・

## 第一節 執事の一 日 前編（前書き）

一日が始まるみたいですね。

クリスマス・・・セイビングスマス

## 第一節 執事の一日 前編

皆様、こんにちわ。

偉大なる主、レミリア・スカーレットの執事、アレス・スカーレットでございます。

え？ スカーレットって名前あるのになぜ執事なんかしているのかだつて？

まあ、いずれお話ししましょう、ええ、いずれ。

さて、そういうしてる間にお嬢様が起きられたみたいです。  
え、なんでわかったかって？

・・・慣れ？

まあ、なんでもいいでしょう。むやみに私が私も御呼びの様子。  
一日の紹介も兼ねていきますか。

執事移動中・・・

「遅いーー！」

いきなりですねお嬢様、慣れましたが・・・

「遅いと申されましても、私には咲夜みたいに時を止める能力はありませんし・・・」

「そんなもの関係ないわ！呼んだら一分以内に来なさい！」

「ですが、お嬢様、この館は肝心の主ですら迷いつなといひ、それなのに私が迷わずに入るのは厳しいかと・・・」

「なつー？ま、迷ってないわ、た、散歩してくるだけよー。」

「ほう、最近の散歩は咲夜と泣き叫びながらするものなのですか、勉強になりました」

「えつ、いやつ、あれはつ、その・・・う、咲夜ー！」

相変わらず楽しいお方だ、ついでに泣き叫んでいたのは昨日のこと。そんなことを思つていると、咲夜が苦笑しながら、涙田のお嬢様を慰めている。

「相変わらずですね、アレス様」

「まあね」

楽しくてやめられません、お嬢様いじりは。  
さて、今だ涙田のお嬢様は咲夜に任せて、フラン様を起こしに行きますか。

「咲夜、私はフラン様を起こしにいくから、お嬢様をよみじへ」

「わかりました」

「うー・・・」

そんな目をされても怖くありませんよ?  
では、移動移動・・・

執事移動中・・・

さてさて、まいりました、地下室。

そういうえばまだパチュリー様にお会いしてないです

ああ、今日は出かけると言つていきましたね。喘息がひどくならなければいいのですが・・・

まあ、とりあえずは気にしないでおきましちゃ。

まずはドアを開け確認を・・・

一つ目、部屋の雰囲気確認・・・よし、普通。

二つ・・・ん? その確認はなにか? 昔起きた事件を機に私がするようになつた事です。

あれはすごかつたですね、なんせ妖精の死傷者数(消滅か?)が半端ないことになりましたから。

それにお嬢様や、咲夜、美鈴、パチュリー様、私とフルで出撃しま

したし。

さらにすゞいことにその全員が大なり小なりと負傷しましたし。

その中で運よく私がかすり傷で済みましたが・・・

あ、そういえば、この事件の理由、言つてしませんでしたね。簡単に  
言いますと

お嬢様がフラン様を起こす フラン様たたき起こされ超不機嫌  
妹喧嘩 喧嘩による狂気解放 大乱闘

以上

まあそんなことはあつ、——」アリスが確認するよひになつたのです。

・・・ともいつても2つくらいですが。

二つ目・・・これは身体にダメージがあるからとも、非常に重要である。

「おはよー、アレスー！」

これが理由である・・・ともじあフラン様はこんな風に抱きついて  
くるのです。

ただ、普通の人間ならそんなに痛くないし、多少よろける程度ですが、フラン様はあの吸血鬼・・・差は歴然である。

それにこの方は力加減がまだうまくできません。おかげでこのままです。・・・私、妖怪でよかつた。

それと一つ目の確認とは・・・もうわかりますよね？

周囲に隠れていないかの警戒です。

さて、確認も終り、腰の痛みも引いたし、腹の上に跨つているフラン様を降ろしますか。

・・・ああ、また美鈴に壁の修理頼まないと。  
ついでにこれで5327回目ですね。

「フラン様、少しは加減してください、いずれこの腰が潰れてしまします」

「ん～～～・・・がんばってみるねー！」

ついでにこのやり取りは5301回目。

「お願いしますよ・・・それはそつと、朝食ができていますよ」

「はーーーーー」

まあ、この可愛らしげ顔を見れるなら女い・・・か？

## 第一節 執事の一 日 前編（後書き）

もつひょっとマシにしたいですね・・・  
スキー行きたいなあ・・・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1458z/>

---

東方執事物語

2011年12月5日20時49分発行